

図書館ニュース

図書館で調べる

No. 81

●平成23(2011)年10月25日●名古屋女子大学中学校高等学校図書館●

<http://lib.meiodai.ed.jp/>

道草のすすめ

山本 暁太 先生 (社会科)

「Easy come, Easy go」という英語のことわざがある。直訳すると「簡単に手に入ったものは、簡単に手を離れていってしまう」という意味になるのか。簡単に離れていってしまうというより、実は簡単に手放しているのであって、それではなぜ簡単に手放してしまうかということ、そこに価値や愛着を感じないからだろう。日本にも同じような意味を持つことわざがあって「悪銭身につかず」という。汗水流して働いて得た金銭は、その人にとって価値も愛着もあるだろうが、労せずして得た金銭には価値も愛着も感じられないから湯水のように使ってしまうという心理を表している。

現代は情報が洪水のようにあふれ、絶えず押し流されていく高度情報化社会といえる。テレビ、インターネットといったメディアの情報は絶えず書き更新され、古い情報はどんどん失われていく。それが最新の情報に最も価値をおく現代人が望んだ形なのだろう。インターネット上に形を変えながら浮遊する膨大なデジタルデータは、キーボードで打ち込んだ内容に反応して、わずかの時間でモニターに引き寄せられる。時間のない現代人にとってはこれもありがたいことであろう。

ただ、そうやって簡単に手に入れた情報は、やはり簡単に記憶から消し去られてしまうように思う。「Easy come, Easy go」のことわざの通りである。

幼いころ、母に手を引かれて行った図書館で、ずらりと書架に並んだ背表紙をながめながら、お目当ての本を探していたことを覚えている。目的の本が見つからなくても、たまたま手に取った一冊から思いもよらない発見をするのが楽しかった。宿題をしに行ったはずが、まるで関係のない本に興味を惹かれ、読みふけた。小学校の夏休みは、ずいぶん長い時間を図書館で過ごしたものである。図書館は私に新しい世界をたくさん紹介してくれた。そのときの本の匂いやかすれた表紙のタイトルまで記憶に残っている。

今は目的のものまで一直線で必要な情報が得られるようになった。便利で、時代のニーズにも合致している。その一方で、私が幼いころに見つけたわくわくするような楽しい時間は忘れられてしまったような気がする。みなさんもたまには図書館で道草をしてみてもはどうだろうか。あなたにとって価値のある、ずっと忘れることのない、新しい世界に出会えるかもしれない。

図書館で調べる

TOOL
1

データベース JapanKnowledge を使ってみよう!

検索

図書館では調べるツールのひとつとして、ジャパンレッジを用意しています。ジャパンレッジはオンラインデータベースとして百科事典や英和辞典、現代用語の基礎知識等、36に及ぶ辞典類を一度に検索、調べることのできるデータベースです。ジャパンレッジでは、用語の意味を調べるだけでなくインターネットの関連サイトも参照することができ、常に最新の情報を収集できるのが特徴です。一方、紙の辞書は、たくさんの人の手を経て作られますので、その過程で審査され、内容に信頼が置けるものが多いです。紙の辞書との違いを覚え、使い分けられるようにしましょう。ここでは、ジャパンレッジを紹介します。

使い方 @ 基礎編

百科事典・辞書・ニュース・学術サイト URL集などを集積した日本最大の知識データベースを一括検索できます。

1

図書館ホームページ中ほどにある、このマークをクリックします。



2

次に、開いた画面の右上にあるログインボタンをクリックします。



3

調べ物をするときは、この検索窓に検索キーワードを入力します。



使い方 @ 応用編

実はジャパンレッジは、百科事典だけじゃなく、便利なデータベースや雑学コラムまで、便利情報満載なんです! 何が便利なのか、ちょっとのぞいてみましょう。



検索窓の下に「古典文学ライブラリ」「日本の論点」など、さまざまなコンテンツが並んでいます。

ピックアップ 『日本の論点』とは……

現代の日本における問題点と、その争点はどこにあるのか、についての論争をまとめた、年刊の「論争事典」です。ジャパンレッジでは、いままでに刊行された『日本の論点』の蓄積とオンラインならではの情報の早さでタイムリーな時事問題も取り上げます。現代の社会において「**しっかりした自分の意見**」をもつために役立つコンテンツです。



『日本の論点』では、ジャンル別、キーワード別等、手がかり別に Index が作られているので、知っているキーワードから検索でき、便利です。

たとえば

論点ジャンル Index をクリックすると、さまざまなジャンルから論点・論文の検索ができます。各論点に対する基礎知識も必ずついていますから、基礎から学べて安心です。



他にも

今週の必読・必見

最近の事件・事故・社会情勢を受けての著名人のコラム。

そのテーマに関連する論文、サイトや推薦図書など、とても充実した内容です。人の意見を読むことで、自分の考えを発展させる訓練になります。

この人の重大発言

政治家などの発言をピックアップし、その発言の背景の説明や解説があり、関連論文と、データファイルとして基礎知識が挙げられています。タイムリーな話題が多く時事問題の勉強におすすめです。



ちょっとひと息

おかたいイメージのジャパンレッジですが、雑学的なコラムが実は面白いんです!

ログインした画面の下の方……3つのコラムコーナーがあります。3つの中から、今回は「日本語、どうでしょう?」をご紹介します。

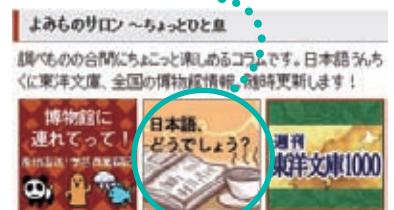
「全然大丈夫」は
全然大丈夫である
第74回

ん? と思った人、ぜひコラムを読んでみてください。否定形じゃなくてもいいのかな……なんて、なんとなく違和感を覚えつつも使ってしまった人も多いと思いますが、使っても「全然大丈夫」なんです。



「全然」の本来の意味は、「残るところなくすべて」という意味で、あとに肯定・否定どちらの表現も使われていたのである。「全然大丈夫」は、もちろん「すべて」という本来の意味である。」

引用：神永暁「日本語、どうでしょう?」ジャパンレッジ (オンラインデータベース)、入手先 (http://www.jkn21.com) (参照 2011-09-24)





辞書・事典を使ってみよう!

調べ物に便利なインターネットやデータベースに比べて、最近、紙の辞書・事典を使っていないなあという人も多いのでは? でも、紙には紙の良さがあるんです。冊子体になっているから調べたいことの前後や全体を俯瞰してみたいときなど、やはり紙の資料に優るものはありません。専門的な分野別の辞書だと、その分野の専門用語が載っているし、深く掘り下げて調べ物をするのに向いています。

それに、インターネットやデータベースだと、検索したいキーワードが思い浮かばないときや、間違った検索ワードを使っているときなどがあると思います。いくら検索をしてもヒットしなければ意味がありません。

また、パラパラとめくっていたら、目当ての項目以外にも参考になる記述が見つかるかもしれません。それも紙の辞書の魅力のひとつです。

総合的な調べ物に

広辞苑 第六版

最初の版が刊行されてから50年余りたち、信頼は不動のものといつてもよい『広辞苑』。国語辞典と百科事典の機能を兼ね備えた便利な辞書です。わからない言葉があったら、まず『広辞苑』をひいてみましょう。改訂を重ねています。2008年1月刊行の第六版が最新です。



ハイベスト教科事典 全11巻

中1から高校まで使えるくわしい教科事典。ハイベスト教科事典は勉強方法がわかり、勉強のあらゆる局面に対応できる事典です。イラストや写真、立体図解などを多く用いて各項目を説明しています。また、「着眼点」「要点整理」として、その項目の要点が簡潔にまとめられています。このシリーズは、各教科の学習の参考に活用できます。



世界地理、日本地理、世界歴史
日本歴史、公民・現代社会、化学、物理
植物の世界、動物の世界、生物と環境
地球・宇宙

国際情勢を知りたいなら



世界国勢図会——世界がわかるデータブック

世界の社会・経済情勢を表とグラフでわかりやすく解説したデータブック。「世界の国々」「人口と都市」「労働」「経済成長と国民経済計算」「資源とエネルギー」「世界の農林水産業」「世界の工業・小売業」「貿易と国際収支」「財政・金融・物価」「運輸と郵便」「情報通信・科学技術」「諸国民の生活」「軍備・軍縮」の13章で構成。

世界情勢の基礎的な知識は、まずこのデータブックで調べてみましょう。

さらに各国の事情を知りたいなら



世界を知る事典 シリーズ

世界中の国・地域についての事典が揃っています。

歴史を知りたいなら

日本史大事典



角川世界史辞典



ある特定の切り口から歴史をみる事・辞典もたくさんあります。



歴代内閣首相事典



教科書にでる人物学習事典



明治ものの流行事典



しらべる戦争遺跡の事典 など……

自分の興味があるところから調べていってもいいし、『日本史大事典』などで概要をつかんでから課題をみつけ、そこから調べていってもいいと思います。

自然を知りたいなら

理科年表

自然科学を全分野にわたって集約した「自然科学の辞典」です。理系で何か調べたいことがあったら、まずコレを調べてみるといてい載っています。今、注目が集まる、旬なデータが満載です。



ことばを知りたいなら

ことば調べの定番



明鏡国語辞典

あいまいな語感を調べる

てにをは辞典



日本語語感の辞典

ことばの源をたどる

身近なことばの語源辞典



出典のわかる 故事成語・成句辞典



インターネットを利用するときの注意

情報が信用できるかどうか不安なときは必ず複数のサイトを調べるようにしましょう。2つ以上のサイトで調べ、情報が一致していればその情報は正しいものといえます。また、できる限り、本でも確認しましょう。

レポートなどにインターネット上の情報をコピー＆ペーストすることは著作権法の違反です。絶対にしてはいけません。引用したり参考にしたときには、きちんと出典をしめしましょう。

高校3年生に論文作成講習を実施しました

昨年度から、高校3年生向けに論文作成講習を行っています。この講習では、大学生、社会人になっても役立つ、論文の書き方、物事の調べ方、を中心に行っています。



書くためには読めなければ始まらない、というわけで、今年はず、7月に『読む』ことと、『読み解く』ことの違い、調べものに使う参考資料の紹介・使い方のレクチャーを行いました。

そして、新書中心のブックリストのなかから1冊を選び、「評論・論文を読み解くこと」という課題に向けて、わからない言葉を調べながら読み解く、という宿題に取り組みました。夏休み明けまで、『幼児期一子どもは世界をどうつかむか』『経済学はこう考える』など、自分の進路に関する新書143種類の貸出がありました。

9月に第2回の講習を行い、そこでは、きちんと「読み解けているか」を確認しながら、論文の書き方の講習をしました。

AO入試や入学前課題として小論文を書く機会がこれから増えます。また、大学生になったら、レポート提出が多くなります。講習内容で得た知識を大いに役立ててください。

月刊「Newsがわかる」を活用しよう!

本年度より、月刊「Newsがわかる」が雑誌コーナーに仲間入りしました。

「10歳からのニュース学習誌」という定義のもと作られているので、今のニュースをわかりやすく、楽しく理解できるよう工夫された誌面となっています。小学生から読めますが、大人が読んで読め応えのある内容となっています。また、「ニュース検定 入門編」の模擬問題が毎月掲載されているので、受験対策にも最適です。

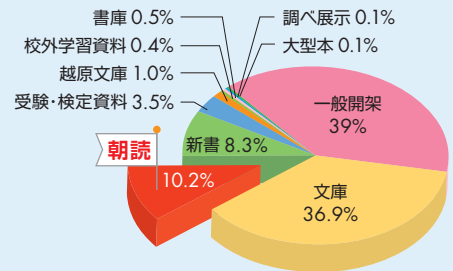
テレビでニュースを見ていても実はよくわからないこと、ありますよね? 図書館に来て「Newsがわかる」で確かめましょう。



朝読コーナー利用状況報告

朝読コーナーは、設置して以来、多くの生徒に利用され、今では全体の貸出の1割を占めるようになりました(コーナー別貸出冊数の割合をグラフにしましたので参照してください)。まだ読まれていない本もあると思いますので、どんどん活用してくださいね。

コーナー別貸出冊数の割合



中学生

図書館へ行こう

田中共子 著 岩波ジュニア新書 423

そもそも本を読むってどういうこと? 図書館ってどんなところ? って思っている人もいないんじゃないですか?

この本ではそんな疑問に答えつつ、今まで深く図書館に関わってこなかった人にも、図書館の存在意義や活用法が分かりやすく紹介されています。この本を読んで、図書館や読書に興味があれば、ぜひ、本校図書館にも足を運んでください。



中学生

中学生の実夢 47都道府県 47人の中学生の実夢

日本ドリームプロジェクト 編 いろは出版

みなさんには、決まった夢がありますか?

この本では47都道府県の47人の中学生の夢が紹介されています。写真や、自筆による原稿もふんだんに掲載された、とても読みやすく、楽しい本です。今はまだ夢が決まっていない人も同じ年頃の他の中学生たちの夢をこの本で読めば、きっといい刺激をもらえるはず。友達と一緒に読んで、夢を語りあうのもいいのではないのでしょうか?



高校生

巨匠とマルガリータ

ミハイル・A・ブルガーコフ 著 河出書房新社

世界文学全集の第5巻。ロシア作家の世界的大ベストセラーです。600ページ近くに及び長編ですが、悪魔一味がモスクワで大暴れるというダーク・ファンタジー小説で、すらすらと読めます。もうひとつ、小説の軸となるのは、文壇から総スカンを食らい人生に絶望した「巨匠」と彼を愛し続ける「マルガリータ」の愛の物語。社会風刺も織り交ぜられていますが、硬くなりすぎず、幻想的な世界観の広がる作品です。



高校生

蔵上・下

宮尾登美子 著 毎日新聞社

既にテレビドラマ化や映画化されている作品ですが、読んだことのない人にぜひ、おすすめしたい作品です。

新潟の酒造家に産まれた烈が、失明という過酷な運命を乗り越え、強くひたむきに生きていく姿を描いています。女であることや盲目であるということに囚われることなく、たくましく生き抜こうとする烈の姿に心揺さぶられる人も多いことでしょう。



編集後記

図書館には「朝読コーナー」のようにみなさんの読書の応援する役割のほか、授業や総合学習での調べ物の手助けとしての役割もっています。今回は図書館での『調べる』手順や、資料を紹介しました。紹介の資料やデータベースのほかにも図書館では『調べる』資料をたくさん所蔵しています。図書館はみなさんひとりひとりの本棚であり書斎でもあります。本棚にはさまざまな本がならび思いがけない出会いもあることでしょう。名女の図書館を「My Library」(私の図書館)として大いに活用してください。